

## 地域医療支援病院運営委員会および地域協議会 議事録

開催月日	令和5年 11月 2日 (木) 18時30分～19時00分		
開催場所	JCHO 北海道病院 講堂		
委員長	寺本 信先生	事務局	総合支援センター：兼子
委員出席者 (敬称略)	〔外部委員〕 寺本 信 (札幌市医師会豊平支部 副支部長) 岡嶋 真紀 (豊平区役所保健センター 札幌市豊平区保健福祉部長) 佐々木 泉顕 (弁護士法人 佐々木総合法律事務所) 松根 龍一郎 (札幌薬剤師会 豊平・清田支部長) 向 俊孝 (札幌市民政委員児童委員協議会 理事) 〔当病院職員〕 古家 乾 (JCHO 北海道病院 病院長) 数井 啓藏 (JCHO 北海道病院副院長兼総合支援センター長) 長井 桂 (JCHO 北海道病院 統括診療部長) 鈴木 千春 (JCHO 北海道病院 看護部長)		
委員欠席者 (敬称略)	〔外部委員〕 佐藤 恵 (腎臓内科めぐみクリニック 院長) 〔当病院職員〕 長 和俊 (JCHO 北海道病院 副院長兼周産期医療センター長) 檜舘 和則 (JCHO 北海道病院 事務部長)		
要旨	議題 1. 当病院の地域医療連携の現況報告 1) 一日平均患者数の推移 平均在院日数について8月短縮傾向だったが9月はやや遷延。8月の救急車受け入れ数多く入院患者が増加したが、転院相談先の後方支援病院がコロナの影響等で受入に時間を要し、在院日数が長くなった。外来通院で病状が落ちついている患者については、地域にかかりつけ医を持つよう逆紹介を推奨していく。 2) 紹介患者数・紹介率、逆紹介患者数・逆紹介率の推移 紹介患者数、紹介率は地域医療支援病院の要件を満たしている。 3) 月別手術・内視鏡・分娩件数 手術・内視鏡件数は昨年度と比較し増加傾向。 分娩件数も増加傾向。工期が遅れたが周産期センター病棟内の工事を開始する。和痛分娩にも取り組んでおり、これまで通りハイリスク妊婦への受入が出来るよう対応する。 4) 共同利用 CT の利用件数がやや減少している。枠はあるため利用促進に向けアナウンスしていく。		

## 2. 地域講演会開催実績について

9月28日中の島まちづくりセンターの協力をいただき、地域講演会を実施。参加者13名。身近な話題だったこともあり参加者の方から質問も多く、普段の診察では聞けないことも医師に直接聞くことができる機会になった。次回は11月30日を予定しており、開催に向け広報中。

参加者が減少する冬期間は、公式YouTubeの活用を検討。公式ちゃんねるについては札幌薬剤師会豊平・清田支部 松根様のご協力をいただき、同意をいただけた調剤薬局にポスターを掲示し地域住民にも広報する。

## 3. その他

### 1) 手術支援ロボット導入について

手術支援ロボット「ダヴィンチ」導入。本体は12月に導入、来年2月洗浄機器等導入、シミュレーションを経て来年3月下旬～4月に第一例目の手術開始予定。準備状況に応じて地域医療機関等へアナウンスしていく。

### 2) MRI 超音波融合前立腺生検について

11月より前立腺癌がより見えやすくなるマイクロ超音波機器を導入したことについて報告。

次回開催 令和6年2月1日18:30予定